

# 秋季彼岸会永代経法要

講題 正信偈のお話

講師 義本 弘導 先生

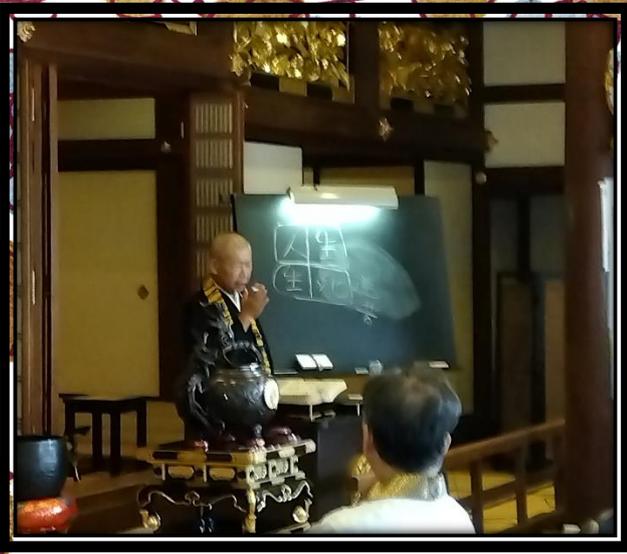
2024年9月20日(金)



いつまでも暑い！！夏の疲れが出る頃ですが、皆さんお参り下さいました。「仏説阿弥陀経」を皆さんと和讃入りでおつとめ致しました。



お彼岸までに御法事をつとめられた方がお供え下さり、お供えした後、御下がりとして皆様にお持ち帰りいただきました。ありがとうございました。院主さんの挨拶の後、義本先生からのご法話。「正信偈のお話」と題をいただきました。親鸞聖人が書かれた正信偈、浄土真宗ではよくあげられるおつとめですが、どんな内容なのでしょう？



男女の違いや、若い年配、能力のあるなし等関係なく、もれなく平等に必ず救うと願ってくださる阿弥陀さまのはたらき。それをお聞かせいただいて喜ばれた親鸞聖人がその旨書かれた「正信念仏偈」。

こんな煩惱だらけの私だからこそ救ってくださる。その阿弥陀さまのはたらきを聞かせてもらったならば感謝せずにははいられません。その気持ちをあらわすのは、称名「南無阿弥陀仏」。我が名前を呼んで下さいと阿弥陀さまのお呼び声です。浄土真宗のみ教えを喜ぶ人は、朝に夕にするおつとめ、称名を大切に、手を合わせたいですね、とお聞かせいただきました。

本日の帳場は

西野さんと北村さん。



有り難う

ございました。



法要の後、納骨堂の前でおつとめしました。

お聴聞に続き、お参り下さい  
ありがとうございました。